

Java のバージョン (JRE8) 追加について (設定手順のお知らせ)

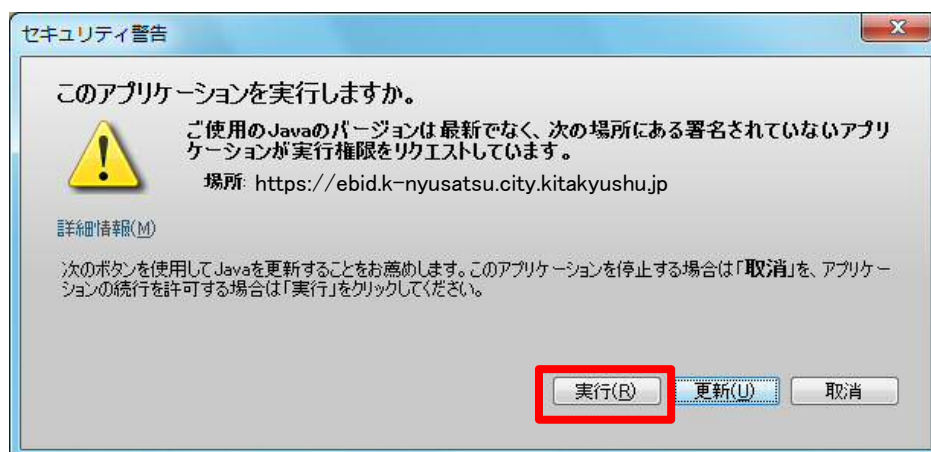
セキュリティ強化のため対応する JAVA (JRE) のバージョンを追加いたします。JRE8 に対応している認証局 (※) より IC カードを購入されている場合に、システムログイン時に以下警告メッセージが表示されます。

以下の警告メッセージが表示された場合は、次ページ以降の手順を参照されて PC の設定変更等を行ってください。

※ 対応している認証局は日本電子認証株式会社、株式会社 N T T ネオメイト、ジャパンネット株式会社、株式会社帝国データバンク、東北インフォメーション・システムズ株式会社となります。(平成 28 年 4 月 1 日現在)

【警告メッセージ表示イメージ (1)】

電子入札システムログイン時にセキュリティに関する警告メッセージが表示された場合、「実行ボタン」を押してください。(毎回、表示されます)



絶対に「更新」ボタンは押さないでください。

「更新」ボタンを押して、Java の更新をした場合は、認証局にお問い合わせください。

【警告メッセージ表示イメージ (2)】

警告メッセージ表示イメージ (2) が表示された場合は、以下手順を参照してください。



例外サイト・リストの確認

本手順は参考資料です。詳細の手順に関しては各認証局にご確認ください。

JRE8 を利用するには、コアシステムを利用するすべての PC において、Java コントロールパネル「例外サイト・リスト」に、ご利用頂く電子入札システムの URL (java ポリシー記載と同じ) 及び電子入札専用クライアント (各認証局が提供) のプログラムファイル名を設定する必要があります。

ご参考として、以下に確認する手順を記載いたします。

(1) コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。



図 2-1 コントロールパネル画面

(2) Java コントロールパネルが表示されます。

「セキュリティ」タブをクリックして、「サイト・リストの編集」ボタンをクリックします。

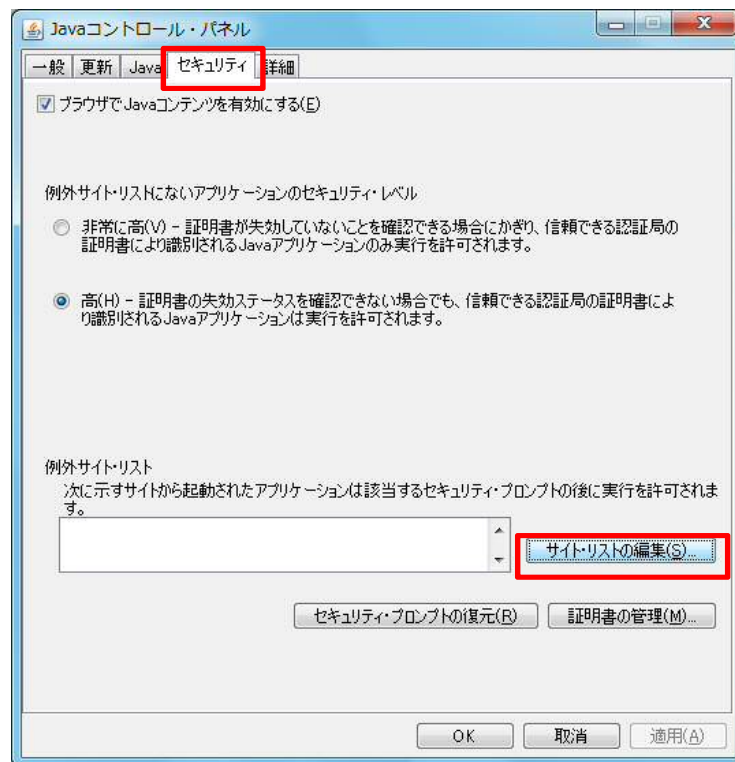


図 2-2 Java コントロール画面①

(3) 「例外サイト・リスト」の下記の設定内容を確認します。

- ・電子入札システムの URL 「<https://ebid.k-nyusatsu.city.kitakyushu.jp/CALS/>」が含まれていることを確認してください。
- ・電子入札専用クライアント : 「file:/～」で始まる文字列（認証局、JAVA のバージョンにより異なります。）

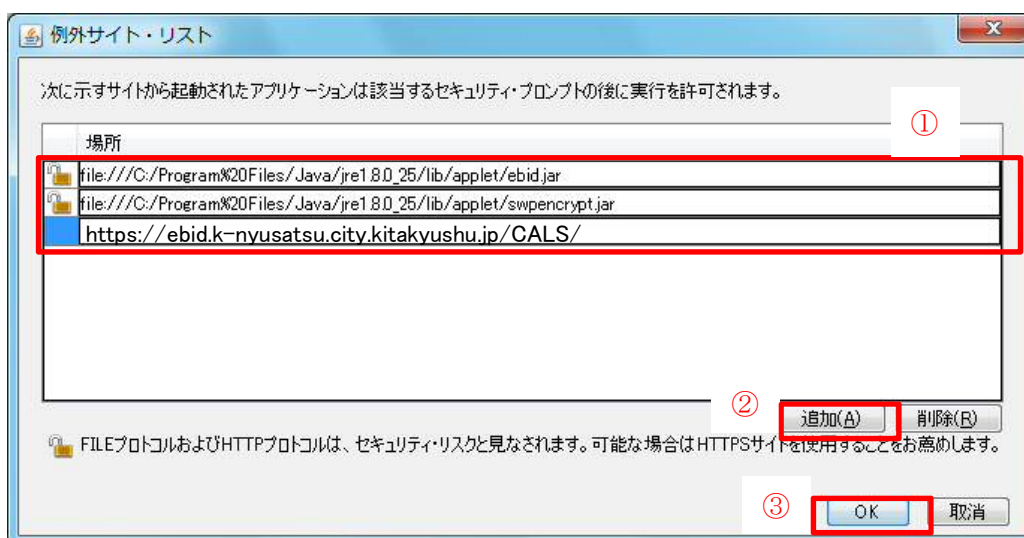


図 2-3 Java コントロール画面②

存在しない場合は、入力後「追加」ボタン②をクリックし、「OK」ボタン③で閉じます。
（「file:/～」で始まる文字列は、認証局にお問い合わせください。）

「詳細」タブの「高度なセキュリティ設定」のチェックを確認します

- ・ 「ブラウザのキーストア内の証明書およびキーを使用する」が、チェックされていることを確認。
- ・ 「TLS 1.0 を使用する」が、チェックされていることを確認。
- ・ 「TLS 1.1 を使用する」と「TLS 1.2 を使用する」がチェックされている場合は、チェックを外す。

